

資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会
2. 国土交通記者会
3. 国土交通省建設専門紙記者会
4. 北海道庁道政記者クラブ
5. 札幌市政記者クラブ
6. 北海道開発記者クラブ
7. (株)建設行政新聞社

日時：令和7年5月1日（14:00）



国立研究開発法人土木研究所
令和7年5月1日

高耐久で環境に優しいコンクリートの実力を 20年以上にわたる調査で検証！

～ホームページに「共同研究報告書」を掲載しました～

土木研究所とプレストレスト・コンクリート建設業協会は、高耐久で環境に優しいコンクリートを20年以上にわたり屋外に置いて、耐久性を検証しました。その結果、従来よりも強度が高いコンクリートや、セメントの一部を高炉スラグ微粉末で置換したコンクリートを使用すると、海岸線付近の厳しい塩害環境下でも、100年以上の間、鉄筋を腐食から保護することが可能であることが示されました。

1. 掲載資料

○共同研究報告書 *共同研究に係わる研究の成果をまとめたもの。

資料NO	タイトル	著者
600	長期間塩害環境下にあった高耐久コンクリートの物性評価に関する共同研究報告書 -高耐久コンクリートの暴露20年以上の調査結果-	材料資源研究グループ 他

2. 掲載先 以下のウェブページから閲覧できます。

○共同研究報告書 URL：https://thesis.pwri.go.jp/public_kanko/110/2025/

【問合せ先】

国立研究開発法人土木研究所

企画部業務課

課長
しゅ
主 査

かなざわ てつや
金澤 哲也
かたおか たかゆき
片岡 貴之

電話番号 029-879-6754